

LIBERAL&DEMOCRATIC

自由民主

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町1-31-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)
定価 1部 108円(税込)
＜毎週火曜日発行＞



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

衆議院議員(兵庫6区：伊丹市・宝塚市・川西市)

大串まさきさん 特集号



●ご挨拶

昨年12月の衆議院議員選挙では116,328票をいただいて二期目の当選を果たすことが出来ました。今回の選挙戦では、多くの方々のご支援・ご協力を聞き、ボランティアスタッフの皆様を支えられながら、また、県議や市議の皆様のご活動にもお支えをいただき、最後まで戦い抜くことが出来ました。
皆さまのお気持ちに感謝するとともに、いただいた一票一票の重みをかみしめ、ご期待に沿うべく、これからも謙虚に地道に頑張ってお参り存じます。

●プロフィール

昭和41年1月20日兵庫県西宮市生まれ。報徳学園高校卒(74回)、東北大学工学部、同大学院修了(工学修士)。石川島播磨重工業(株)、松下政経塾を経て北陸先端科学技術大学院大学修了(博士)。同大学院助教、西武文理大学准教授(看護学部兼任)を歴任。平成23年3月、自民党兵庫6区支部長に就任。平成24年12月第46回、平成26年12月第47回衆議院議員総選挙にて連続当選。現在2期目。

◆所属委員会 厚生労働委員会、政治倫理の確立及び公職選挙法改正に関する特別委員会 理事

◆党内役職 国会対策委員会 委員、厚生労働部会 副部会長、文部科学部会 副部会長、団体総局労働関係団体委員会 副委員長、政務調査会 宇宙・海洋開発特別委員会 海洋総合戦略小委員会 事務局次長、政務調査会 キャリア教育推進特別委員会 幹事、政務調査会 スポーツ立国調査会 幹事、政務調査会 国際保健医療戦略特別委員会 幹事 等

●委員会質問に立ちました！

委員会の質疑は、このようなかたちで行われています(厚生労働委員会)。



委員会質疑は本院別館、第16委員室で行われます。



選出委員長から指名されます。

委員会		審議日	審議時間
法務	14	9:00	経済産業 12 13:00
文部科学	15	9:00	国土交通 14 9:00
厚生労働	16	9:00	
農林水産	17	9:00	

その日の開会状況はモニターでアナウンスされています。



そして、質疑。



質疑を前に質問者の席で待っているところ。



答弁席には大臣、副大臣、政務官。



質疑は委員長に手を上げて指名を受けてからスタート。



重要法案も多く、定数45の大所帯です。

衆議院予算委員会第四分科会(文部科学省)(3月10日)

学校給食センター整備事業について

かねてより地元伊丹市から要望をいただいていた中学校給食の実現を目指すための学校給食センターの整備事業予算について、下村博文文部科学大臣に質問をしました。

学校給食は、適切な栄養摂取による健康増進という観点からだけでなく、望ましい食習慣を養うなど、食育という観点からも非常に重要な施策です。しかしながら、現状では、耐震補強等の関連事業が優先されるなど、十分な予算が確保されていないのが現状です。次代を担う子どもたちのためにも学校給食センターの整備事業予算の必要性について訴えました。

下村文部科学大臣からは、児童生徒の教育環境の改善をさらにすすめるため、地域の実情に応じた施設整備がすすめられるよう取り組んでいくとの答弁をいただきました。

子どもたちは「日本の宝」です。私たち社会全体で子どもたちの健やかな成長を見守るためにも、引き続き尽力してまいります。



予算委員会第4分科会で質疑



下村博文文部科学大臣



ロボット技術政策について

アベノミクスの成長戦略を担う技術のひとつに、日本が得意とするロボット産業の推進が提案されています。これは、国をあげて取り組むべき課題です。

元来、日本は「ものづくり」の国として、確かな技術や安全性が、世界中から高い支持を得てきました。しかしながら、近年では、ロボットは単なる機械ではなく、「情報技術」に重きが置かれるようになるなど、役割も変化しています。日本も今後は、研究開発をさらに推し進め、世界と戦っていかなければなりません。そのためには、次世代技術の開発や、人材の育成が不可欠です。この点については、文部科学省が非常に大きな役割を担っており、今後どのような方向性や問題意識を持っているかについて議論を行いました。

文科省からは、平成27年度予算において、若手人材が独創的な技術やアイデアを結実した基礎的研究開発を行うことを通じ、能力を身に付けるプログラムを立ち上げるための経費計上を行っているとの答弁を頂きました。小学校・中学校など子どもの頃から、いろいろな工夫や柔軟な発想を育てる教育が必要です。

今後も、政治の立場から提言を行い、わが国が真に強い独創的な国家になるべく、省庁と連携しながら精力的に取り組んでまいりたいと思います。

衆議院厚生労働委員会(4月18日)

心から「安心」できる社会をつくるため、社会保障制度の改革や充実、私の重要政策のひとつです。初当選以来、厚生労働委員会に所属してまいりましたが、このたび3年目にして初めて、一般質疑(※法案の審議ではない課題について質問できる)の機会を得ました。

テーマは、かねてより問題意識を持っていた「広報」についてです。政策は、「作る」だけでは意味がありません。国民の皆さんに、正確に理解してもらえるよう、しっかりと伝える責任が、国会や行政にはあると考えています。

特に、厚生労働行政に関わる政策は、誰にとっても重要であり、生活に直結する課題がほとんどです。社会保障制度や医療・福祉などの政策がどのように変化していくのか、今、何が行われようとしているのかを正確に伝えていくことが、他の政策以上に必要であると考えています。

たとえば、「年金」は制度自体が複雑であるがゆえに、誤解も多く、私が地元をまわらせていただいても、必ず不安や心配のご意見をお聞きします。それは、この地域に限ったことではありません。塩崎厚生労働大臣からも、将来のことも考慮した上で、できる限り高齢者の皆さまの生活水準を守れるように考えていきたい、との答弁をいただきました。

すでに破綻していると思われるのは、将来にわたる制度は維持できません。制度を活かしていくためにも「作りっぱなし」ではなく、戦略的かつ効率的に



厚生労働委員会での質問



塩崎厚生労働大臣

的に情報を伝える努力が必要です。

短い時間での質疑でしたが、ひとつの問題提起が出来たと思っています。これからも、具体的で効果的な方法を提案して参ります。

●政策活動へも精力的に取り組んでいます!

「サイバーセキュリティに関する人材育成」について

コンピューターやインターネットなどに不正に侵入し、データの詐取や破壊、改ざん、企業内の重要情報を盗み取るなどの犯罪行為を行う、いわゆる「サイバー犯罪」が重大な問題となっています。

サイバー攻撃の巧妙化、情報セキュリティがITインフラの必須要件と考えられるようになってきた一方で、情報セキュリティに関する人材不足が深刻です。

自民党では「サイバーセキュリティ人材育成について」の検討を開始し、文部科学部副委員長として、座長に就任いたしました。

2020年には、オリンピック・パラリンピックが東京で開催されます。ロンドンで開かれたオリンピックでの経験からも、大会の成功にはサイバーセキュリティの確保が必要不可欠です。こうした点も見据え、我が国のサイバーセキュリティ対策に万全を期してまいります。



文部科学部副委員長として国会



清酒発祥の地、伊丹市での振舞酒のイベント



少年野球大会でご挨拶



神津のひょうたん祭を訪問



谷塚第一自民党幹事長へ新名神道の早期実現の要請



豪雨による河川の被害を視察



川西市議団と石破茂自民党幹事長(当時)を表敬訪問



海洋総合戦略小委員会で事務局長として司会



駅前での朝のご挨拶



街頭での国政報告



駅前で国政報告ピラを配布



なごな大会でメダル授与



安倍総理大臣に提言書を提出



老人会でご挨拶

衆議院議員 大串まさき 事務所

- 兵庫事務所： 〒664-0851 兵庫県伊丹市中央1-2-6
グランドハイツコーワ2-12
TEL：072-773-7601 FAX：072-773-7602
- 国会事務所： 〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館616号室
TEL：03-3508-7191 FAX：03-3508-3621

<http://www.m-ogushi.com> e-mail:info@m-ogushi.com

